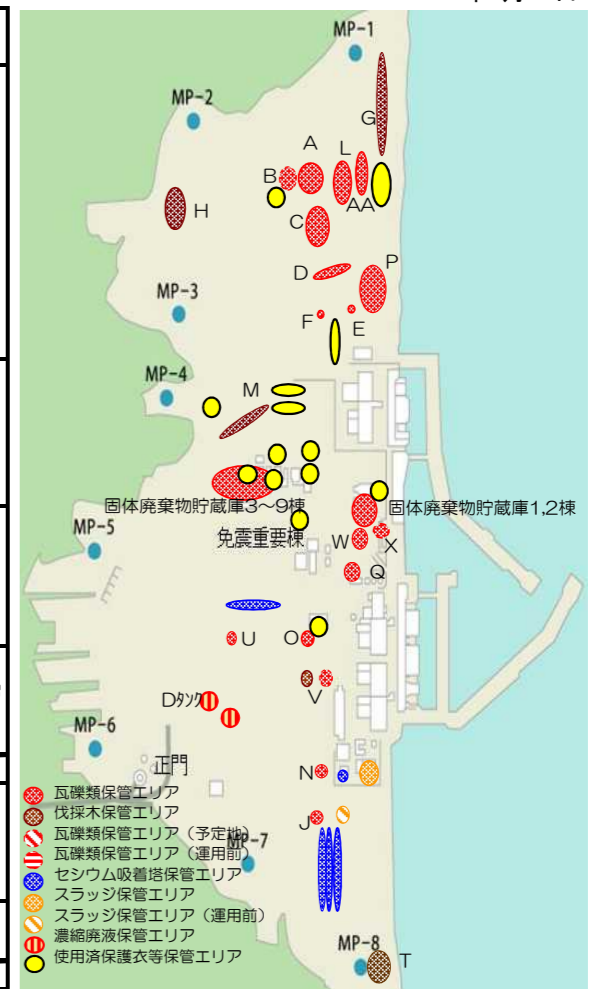


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.1.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比*1 (2019.1.31)	変動*2 理由	エリア 占有率	保管量*3/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,500 m ³	0 m ³	—	77 %	192000 / 250700 (77%)	・フランジタンク解体片 2019年1月末時点でコンテナ913基保管。 エリアP1コンテナ数：668基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：245基 (2018年3月15日～)
	C	屋外集積	0.01未満	62,200 m ³	微減	—	98 %		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
	J	屋外集積	0.01	5,100 m ³	+400 m ³	①②	64 %		
	N	屋外集積	0.01未満	9,300 m ³	+3,800 m ³	①	93 %		
	O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	0 m ³	—	85 %		
	P1	屋外集積	0.01未満	49,700 m ³	+900 m ³	①③④	78 %		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %		
	V	屋外集積	0.01	4,500 m ³	+600 m ³	①③⑤	74 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	8,100 m ³	+100 m ³	①	22 %		
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %	37400 / 71000 (53%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	0 m ³	—	88 %		
	P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	0 m ³	—	62 %		
	W	シート養生	0.03	7,200 m ³	-500 m ³	⑥	25 %		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100 %	19100 / 31700 (60%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)
	A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	14 %		
	E2	容器*4	0.01	400 m ³	微増	—	24 %		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器*4	0.01	13,600 m ³	+900 m ³	①③ ⑦⑧	30 %	13600 / 45600 (30%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)
合計(カレキ)				262,100 m ³	+6,300 m ³	—	66 %		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63 %	96700 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88 %		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %			
合計(伐採木)				134,000 m ³	微増	—	76 %		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	54,200 m ³	+1,100 m ³	⑨	76 %	54200 / 71200 (76%)	・使用済保護衣等焼却量 5261t (2019年1月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1264本 (2019年1月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				54,200 m ³	+1,100 m ³	—	76 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物保管 ③構内所有者不明物品の受入 ④一時保管エリアVへの移動 ⑤一時保管エリアP1からの移動
 ⑥固体庫9棟へ瓦礫の移動 ⑦1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑧一時保管エリアWからの移動 ⑨使用済保護衣等の受入

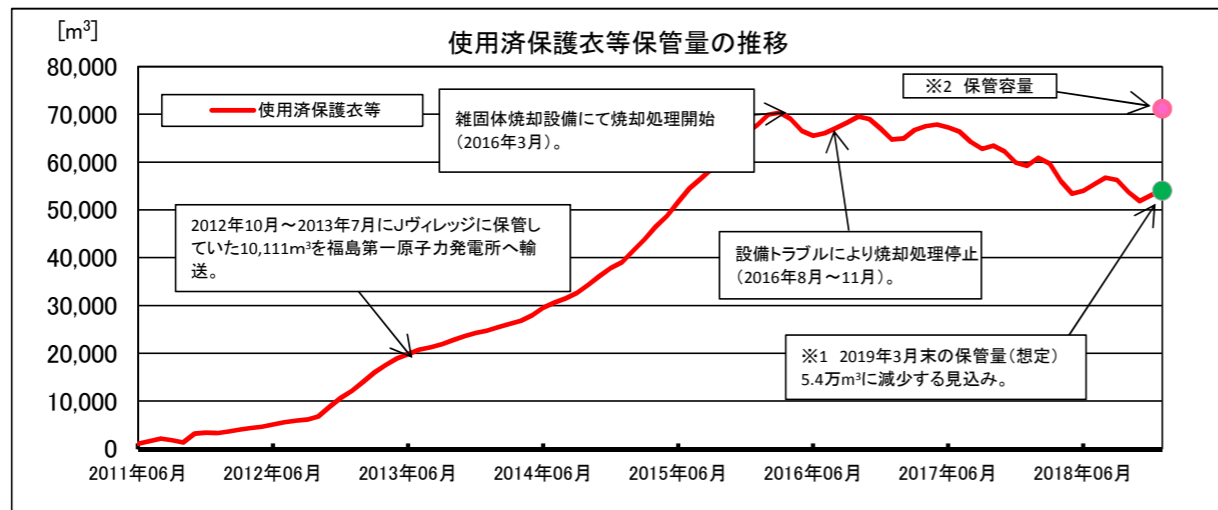
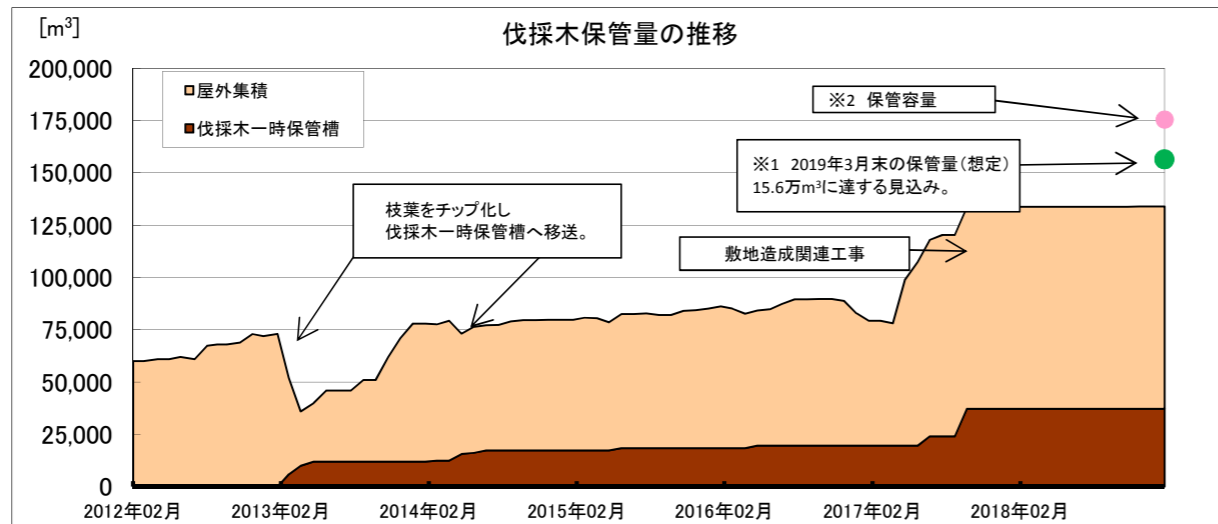
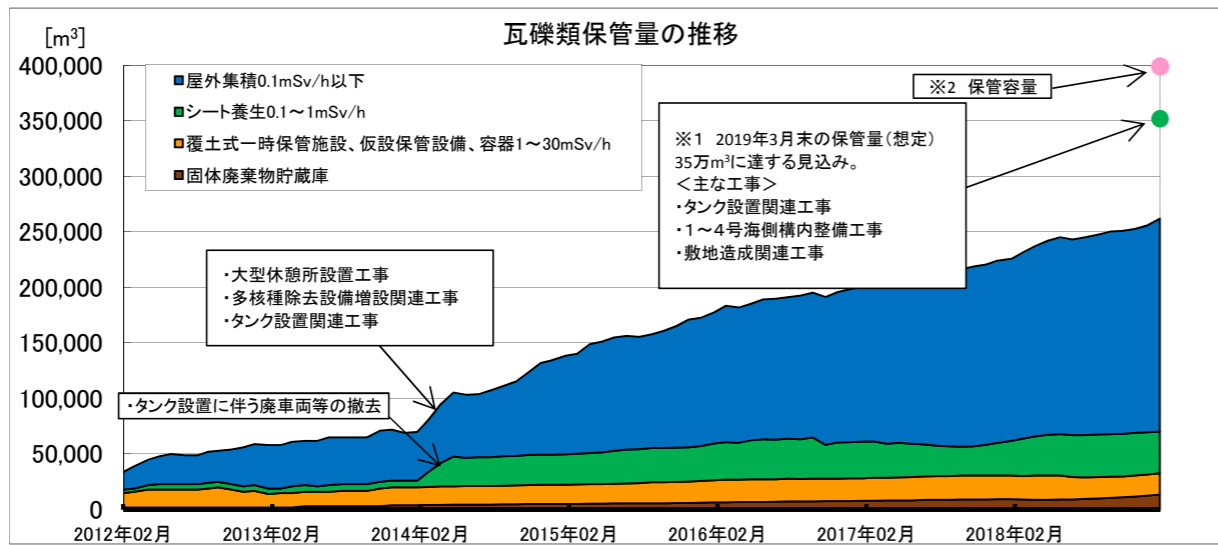
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2019.2.7時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2019.1.31)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4282 / 6372 (67%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	210 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,577 基			+14 基
			増設	1,435 基			+17 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
	多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔	0 塔			
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	204 本	+1 本			
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,330 m ³	+12 m ³	9330 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9230 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.1.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.2.7時点)

